

令和4年度 学校評価報告書

学校法人 桐誠学園
府中新町幼稚園

1. 本園の教育目標

- 生き生きと元気ある子に
- ・人の話を聞ける子、素直な子
 - ・一生懸命やる子
 - ・何事も最後までやりぬく子

2. 本年度、重点的に取り込むことが必要な目標・計画

- ・預かり保育を拡充し、共働き家庭を支援する
- ・子どもたちの特性や能力を伸ばす
- ・子どもたちに明るく挨拶する習慣を身に付けさせる
- ・最後までやり抜く強い気持ちを育てる
- ・規則正しい生活習慣を身につけ、自立心や我慢する心を養う

3. 自己評価の達成及び取り組み状況

	取り組み状況	評価	評価理由
・預かり保育を拡充し、共働きを支援する。	・預かり保育の時間を18時まで延長、2号認定優先 ・長期休暇中にも8時30分から18時まで預かり保育	B	・2号認定の方々から助かっている。が、1号認定の料金が高い ・時間単位で預かり保育を設定してほしい
・子どもたちの特性や能力を伸ばす。	・保育者はこまめに子どもの様子を記録する ・保育者は保護者への連絡時に子どもの様子を伝えるよう努力する。	B	・バス通園の子どもたちの様子をもっと知りたい。 ・記録、連絡帳のやりとりはどうか提案があった。
・子どもたちに明るく挨拶する習慣を身に付けさせる	・保育者から積極的に挨拶のことばを掛ける ・喧嘩をしたら、子どもたちがお互いに謝るように教える	A	・兄弟喧嘩しても自ら謝るようになってきた
・最後までやり抜く強い気持ちを育てる	・なわとび、マラソン、鉄棒、パラバルーンなど体育を通じて前向きにやり抜く気持ちを育てる	A	・できなかったことができるようになった報告を受けている ・成功体験から達成感を味わうことができることは素晴らしいことである
・規則正しい生活習慣を身につけ、自立心や我慢する心を養う	・生活習慣、しつけの指導をきちんと行い、保護者にも理解と協力を求める	B	参観時、もう少し厳しく子どもたちに注意してもよいと思う。

4. 学校評価の具体的な目標の総合的な評価結果

B: バス通園の方々は、子どもの様子がわからないので、もう少し教えてほしいとの意見が多く、具体的には連絡帳、動画配信を希望された。

保護者は、幼稚園での姿、様子を少しでも見たいとのこと、今後は動画配信をしていく予定である。

5. 今後取り組む課題

1. 積極的に体を動かす保育を取り入れる。	・朝マラソン、平均台、跳び箱、ローテーションを取り入れる ・鉄棒ぶら下がりをする。 ・保育者と体育の先生との話し合いをし、各学年の目標を立てて、体を動かすことに積極的に考える。雑巾かけでも構わないようである。
2. 気になる子への支援	・園全体で気になる子を理解して援助する。 ・その子がなにを伝えようとしているか、関わりを積極的にしていく。 ・補助の先生をおいて様子を保育者と共有し、気になる子への理解を深めていく。
3. 幼小接続	・今回、小金井市の小学校と交流をもち楽しい思い出ができたようです。 ・小学校と以前、昔遊びを1年生と共に遊び、復活させたい。 ・中学生の職場体験など積極的に実施する。(コロナのため中止)

6. 学校関係者の評価

6-1

自己評価で設定した目標、計画、評価項目の設定は適切なかどうか。

生き生きと元気ある子に：具体的に、人の話を聞ける子、素直な子、話を聞ける子はいるが、保護者に設定した目標、計画が見えてないとも思える。もっと研修内容を開示した方がよいと感じた。

6-2

評価項目(5項目)の結果については適切だっただろうか。

- (1) 預かり保育の時間を延長したことによって、2号認定を取得する保護者が増えて、パック料金で利用する方々が多くなり、今年度、初めて3歳児を4月から受け入れて、入園希望を考える人が増えてもよいのではないかと考えている。
- (2) 「子ども達の特性や能力をのばす」子ども一人ひとり保育者がきちんと見て言葉がけをしている。ただ能力を伸ばすより、やる気を引き出せることが大切ではないかと思う。保護者からのアンケートにより子どもの様子をもっと知りたいという依頼が多かったようである。確かにバス通園の方々には、お話しする機会が少ないというのは確かなので、考える余地はある。
- (3) 「子ども達に明るく挨拶をする習慣を身に付けさせる」とても元気に朝のご挨拶ができていた。教室を回っていると、ほとんどの子ども達が笑顔で挨拶ができ、気持ち良く感じた。先生方も笑顔で挨拶し、良い印象を受けた。
- (4) 「最後まで、やり抜く強い気持ちを育てる」運動会を見ている限り、最後まであきらめないうで、縄跳び
走りにも、歯を食いしばって頑張っていた。

目標、{運動会}があるからこそ縄跳びも練習したり、できない子ができるようになった達成感は素晴らしいと思う。これだけ大縄も続けてできるとは努力、お友達と頑張ろうという意志が強くなってきたように思われる。もう少し体を動かす事を積極的にカリキュラムに入れてもよいと思う。

(5) 「規則正しい生活習慣を身につけ、自立心や我慢する心を養う」コロナ感染予防として手洗い、消毒

マスク着用という中で子ども達は、しっかり行っていました。

コロナ禍の生活で子ども達は、精神的にも大変でしたが、保育者も苦労があったと思われる。

6-3 具体的な目標や計画の総合的評価結果については適切でしたか。

評価項目の達成結果を子ども達の行動に即して振り返り、概ね達成されていたように思われる。

6-4 今後取り組むべき課題は適切に行われていましたか。

項目ごとに具体的にあげている為、来年度への課題がわかりやすくなっている。

保育者には、良かった点をさらに伸ばして、一人ひとりの子どもに向き合ってほしい。

保護者の方のアンケートの中から

カリキュラムは、日々違うと思いますが、毎日の朝の活動、規則正しい習慣を繰り返すことによって【今は静かにする時間だな】【今は〇〇をする時間だな】と、子ども達の中で考えられるようになっているのはとても良い事だと考える。

一斉保育の中では、体育、遊び、勉強バランス良い園ではないかと思われそうですという意見があった。

その他

★一斉保育の楽しいカリキュラムがしっかりしているので、子供たちは、5分、10分の集中力が養われて行くように思われる。

★音楽発表会がとても楽しく、子供のうちから大きいホールで演奏出来ること、先生と一緒に演奏出来たことは、良い思い出となっていくでしょう。お遊戯会も同じ印象をうけ、素晴らしいと思われる。

★小さな事でも、幼稚園でどのようなことに取り組んでいるか、情報をもっと保護者に伝えることで、より良い幼稚園に発展させることが期待できると考えている。

★気になる子への配慮：もっと保育者同士考えていかないといけないと思う。

{具体的に}

同じクラスになった時に、1年間不安で過ごすより、その保護者からひと言あると安心して取り組むことができるのではないかと思われる。色々な方々から助言を必要とされます。家庭とも連携を密にすることが大切。